

# 第17回 教育資料研究会

## ～ 授業改善としての学習者の学習反応曲線の研究 ～

主催 日本教育情報学会・教育資料研究会

現在、政府（文部科学省，総務省）ではフューチャースクール構想において，全国各地で実験的に児童生徒一人1台のコンピュータ環境を整備しています。さらに，その教育的効果を実証して，2020年迄に，児童生徒一人1台のコンピュータを導入する計画をしています。ここでは，このような児童生徒1人1台のコンピュータの学習環境における新しい授業研究方法として，授業実践の記録を児童生徒1人1台のコンピュータを使ったアナライザーを活用し学習反応曲線を作成し，その学習反応曲線を作成する方法と授業改善について研究する。

### 記

日 時： 平成28年 3月17日（木） 17:00～19:00

主 催： 日本教育情報学会

場 所： 岐阜女子大学 11号館2F 久世研究室  
〒501-2592 岐阜市太郎丸80番地

TEL (058) 229-2211 (代) 028-214-9341 (研究室直通)

内 容：

1. 授業支援サービス (Ranavis) のシステム構成と操作

増村洋彰 (株式会社 リオス)

2. 学習反応曲線に関する今までの実践研究

齋藤陽子 (岐阜女子大学)

3. 発問のカテゴリーの違いにおける学習反応曲線

堀 信哉 (大垣市立星和中学校)

4. 学習反応分析システムの機能と構成

久世 均 (岐阜女子大学)

参加費： 無 料

申込先：参加希望の方は、岐阜女子大学 文化創造学部 初等教育学専攻 齋藤陽子まで  
E-mail ([youko@gi-jodai.ac.jp](mailto:youko@gi-jodai.ac.jp)) で直接お申し込みしてください。